

令和8年度協働のまちづくりチャレンジ事業

金沢市民の明日をもっと力強く。
生徒会活動で、さらに豊かに。

By いしかわ生徒会交流会

プレゼンター

星稜高等学校3年/いしかわ生徒会交流会代表 堀田大雅



団体について



いしかわ生徒会交流会
Ishikawa Student Council Meeting



設 立:2025年12月

会員数:32名(6月時点)

拠 点:金沢市長土堀青少年交流センター

私たちの活動理念

石川県における**若きリーダー育成の土台**となる組織の実現

活動の様子(左から第0回、第1回交流会、段ボールベッド組み立て訓練)



私たちの歩み

時期	歩み
2025年12月	団体設立
2026年1月	第0回いしかわ生徒会交流会 開催
	第1回いしかわ生徒会交流会 開催
同年3月	全国生徒会大会2026 参加、プレゼン
同年5月	段ボールベッド組み立て訓練 実施
	第2回いしかわ生徒会交流会 開催



左上 第0回交流会
左下 第1回交流会
右下 第2回交流会



第2回交流会には
MROアナウンサー
久々江 龍飛さんが参加！

6月14日MROラジオ
「久々江 龍飛の
ハイスクールNow!!」
で本会の活動が紹介されました！



いしかわ生徒会交流会
Ishikawa Student Council Meeting



全国生徒会大会
2026に参加して
団体紹介プレゼン
の機会をいただき
ました！

生徒会
生徒会活動 ってなんだろう

生徒会

全校生徒によって組織される自治的な活動組織

構成員…全校生徒

目的…生徒のより良い学校生活の実現、積極的社会参画意識の醸成

生徒会活動

生徒会員が行う、目的達成のための行動の総称

- (1) 学校における生徒の生活の改善と向上を図る活動
- (2) 生徒の諸活動についての連絡調整に関する活動
- (3) 体育祭や文化祭などの学校行事への協力に関する活動
- (4) ボランティア活動など社会参加に関する活動





生徒会活動のここが素晴らしい

一般生徒

- ・ 主体性向上
- ・ 当事者意識向上
- ・ 意見を伝える重要性を知る

生徒会役員

- ・ リーダーシップ向上
- ・ 社会的スキルが身につく
- ・ 課題解決能力の向上

教員

一般生徒と生徒会役員のつながりで

- ・ 意見収集→課題発見→解決・実行→改善 の一連の流れから一体感を生み、協働精神が育まれる
- ・ 政治に似たシステムから、漠然としていながらも意見集約、意思決定の仕組みのイメージを掴める

生徒会役員と教員のつながりで

- ・ 生徒会役員は、企画書作成や校則などを巡る教員との交渉などから、実用的なスキルを習得できる
- ・ 教員は、生徒の声を広く取り入れる生徒会役員から生徒の学校生活への思いを知ることができる

私たちの 社会の課題

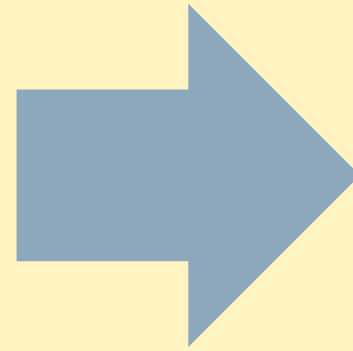
団体の現状・課題



いしかわ生徒会交流会
Ishikawa Student Council Meeting

〈課題〉

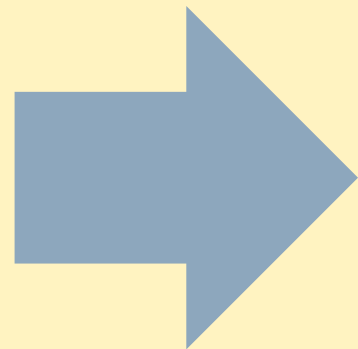
- ・参加者数の少なさ
- ・参加者に提供する価値の向上
- ・団体の継続性
- ・資金がない



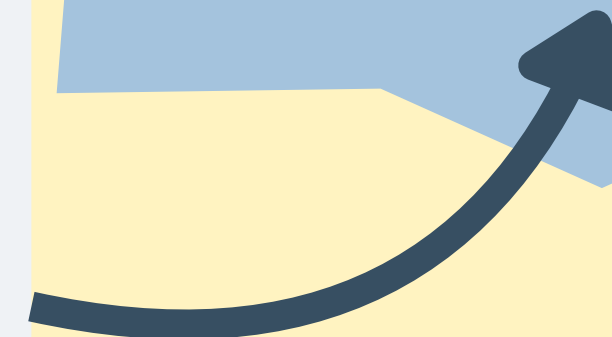
影響力が低い
交流会参加のインセンティブがない
団体存続危機が発生する
資金面による活動の幅に制限がかかる

改善のために…

インパクトのあるゲストを招待し
参加者数の増大、交流会参加の
インセンティブを確保



金沢市の支援を受けたい



社会課題



いしかわ生徒会交流会
Ishikawa Student Council Meeting

金沢市議会議員選挙における投票率は
2003年から2023年にかけて**約17ポイント低下**している
→市民の社会参画意識、当事者意識が低下している

社会参画意識や当事者意識が低いと…

自分の住む**まちへの関心、地元愛の低下**

→まちづくりが効果的に進まない、まちの活力低下、そして**衰退**

行政に対する市民のフィードバックが得にくくなる

→行政の方向性の不透明化、**政策の偏り**、ひいては幸福度低下

金沢市、石川県の発展のために解決したい！

そのために…→

本事業におけるメイン企画



いしかわ生徒会交流会
Ishikawa Student Council Meeting

第4回いしかわ生徒会交流会の開催

日時：8月20日(木) 13:00~17:00

場所：金沢学生のまち市民交流館 交流ホール
(会場費:無料)

ターゲット：生徒会活動に取り組む中高生

リーダー活動や生徒会活動に興味のある中高生

達成目標：参加校20校以上、参加者60人以上



企画詳細（予定）

- ①開会
- ②ゲスト紹介
- ③アイスブレイク
- （④各校生徒会紹介）
- ⑤パネルディスカッション
- ⑥グループワーク
- ⑦審査、評価
- ⑧自由交流閉会

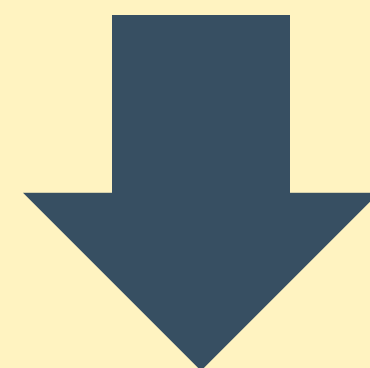
事前に参加者の
生徒会の課題を募集

縦割りで模擬生徒会を結成
事前に収集した課題をテーマに討論
プレゼン
参加者全員とゲストが審査
表彰



目玉企画

✨せいまいさん✨
(能登のお土産を作る元高校生)
を招待



パネルディスカッションで
アクティブな交流会に！

せいまさんとは？

大聖寺高校出身 同志社大学在学

< seima_ishikawa.omiyage



せいま | 石川県を代表するお土産を作る元高校生

33
投稿

3.7万
フォロワー

1
フォロー中

個人ブログ

\SNSの力でご当地お土産・石川県の魅力を全国へ/

残りの学生生活をかけて挑んだ🔥

学生としての“最後の大プロジェクト”

石川県の能登の 続きを読む

ec.tsuku2.jp/items/30541220059252

@seima_ishikawa.omiyage

石川県出身

3期に渡る生徒会活動の経験を経て、高校3年生で「能登のために何かしたい」という思いから能登のミルクと塩を使ったお土産開発に着手。SNS広報に力を入れ、広く知られている。



いしかわ生徒会交流会
Ishikawa Student Council Meeting

せいまいさんとは？

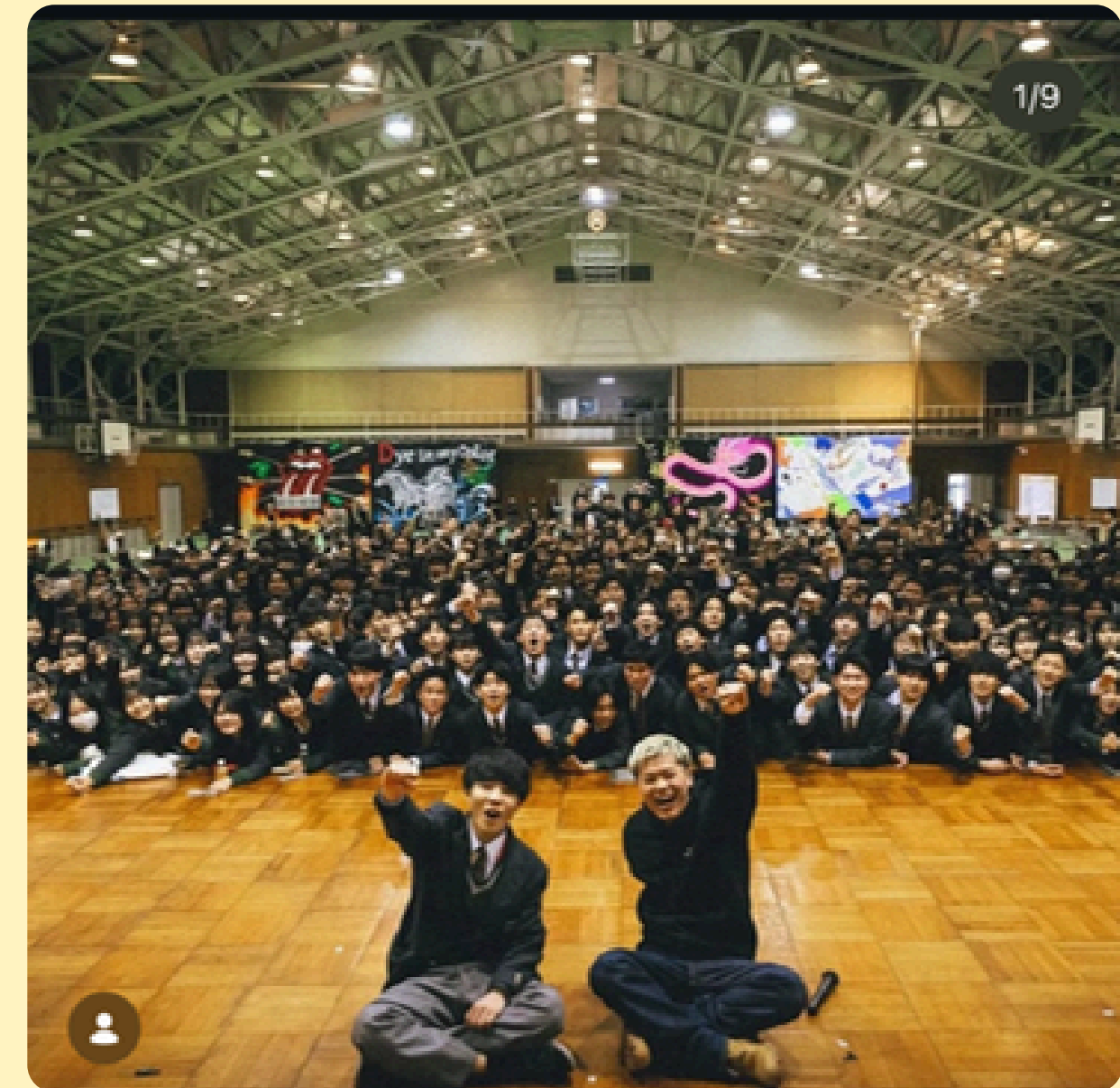
- ・ 計3期の生徒会長経験あり
- ・ 日本生徒会大賞受賞
- ・ 「生徒主体の学校改革」を掲げ様々な改革に着手



県内公立校初
アイス自販機設置



文化祭
3日間開催実現



卒業祭開催
ゲスト：那須川天心さん

せいまいさんとは？

- ・ 高校3年時に起業した学生起業家
- ・ 能登復興のために能登のミルクと塩を使ったお土産「ミルクとしお」を販売
- ・ SNSマーケティング事業も展開



先日金沢駅で開催された
「ミルクと塩」ポップアップ
長蛇の列に



いしかわ生徒会交流会
Ishikawa Student Council Meeting

なぜ、 せいまさんをゲストに？

3つの理由

①参加者数UPを見込めるから

②参加者への良い影響があるから

③今後への波及効果が大きいため





①参加者数UP

せいまいさん

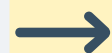
- ・石川県内の中高生からの知名度が高い
- ・SNSフォロワーが多く、発信力が強い



交流会参加者UP



→ より多くの人に
生徒会活動の魅力を届けられる



より多くの人
のリーダーシップ、当事者意識が向上



→ 団体の課題、社会課題両者の改善

さらに…

せいまいさん目当ての参加者に
生徒会活動の魅力を伝えるチャンス



②参加者への良い影響

せいまいさんが
成し遂げたことすべてが
中高生の

**夢を与える
一歩を踏み出す勇気に変わる**

生徒会活動の先輩としての成功例を聞く、知る

→お手本からビジョンが見えてくる。自分も何かできるかもしれない！

生徒会活動の**モチベーション**向上や**自信の獲得**につながる

せいまいさんの「挑戦」を聞く、知る

→せいまいさんの生徒会活動だけではない様々な挑戦の経験から

挑戦する態度の重要さ、自分から行動する主体的な姿勢を学べる

③今後への波及効果 団体目線

せいまさん効果で長期的な利益が得られる！

①団体、交流会のブランド価値向上

→「せいまさんが来た」という情報の影響は大きい。

せいまさんを招待した実績と信頼性は参加者数と質の両方に好影響

また、地域の青年コミュニティとしての一定の地位確立に繋がる

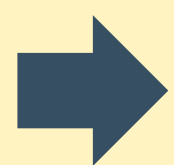
②団体の活動の幅が広がる

→せいまさんを招待した経験を活かし、他のゲスト招待に挑戦できる

③生徒会活動と社会の結び付き強化

→せいまさんは生徒会活動経験者で、起業家である

「中高生と生徒会活動と社会をつなぐ」役割としての団体の方向性の模索に寄与



単発ではなく、今後の交流会の
成長につながる投資



いしかわ生徒会交流会
Ishikawa Student Council Meeting



③ 今後への波及効果

社会目線

暮らしづくり

最終段階

これまでの段階を経て培った主体性、当事者意識、市民意識によって、**自己の暮らしから飛び出し、周囲の人間の暮らしに良い影響を与え始める**

都市づくり

第二段階

都市づくりをしていく一員だという意識の醸成
→いち市民として地域の発展を考えるきっかけが生まれる

人づくり

第一段階

- ・リーダーシップ
 - ・主体性
 - ・当事者意識
- を育む

今後の私たちの歩み



日程	イベント	内容(テーマ)	目標人数
7月29日	第3回交流会	各校文化祭から紐解く生徒会活動の課題 効果的な引き継ぎ方法の検討	30人
8月12日	相談会	生徒会活動における悩みや課題の、 参加者同士の対話(相談)による改善を目指す 本団体運営陣への相談も可	20人
8月13日			20人
8月20日	第4回交流会	せいまさんを招待 パネルディスカッション	60人
10月	第5回交流会	生徒会経験者と新生徒会役員の意見交換 生徒会のあるべき姿を考える	50人
12月	第6回交流会	1年間の活動を振り返り、来年に活かす	50人

三度のイベントを経て
実績をさらに積み、
本番に挑む！

新規参加者を逃さず、
高強度の活動を維持

収支予算

収入

科目	金額
金沢市からの委託料	100,000



支出

科目	金額	摘要
謝金	25,000	講師謝金（交通費込）
交通費	15,000	スタッフ交通費(@500円×5人×6回)
印刷製本費	15,000	リーフレット、団体広報冊子
チラシ郵送費	10,000	金沢市内各中学、高校
消耗品費	15,000	お茶菓子代
材料費	20,000	ワークショップ材料費
計	100,000	

